

クリンテートシリーズ「調光」の効果確認試験



JA月形町

加藤 隆行



試験目的	「調光」の効果確認試験						
試験作物及び品種	トマト						
試験資材及び数量(規格)	調光(0.15mm×740cm×79m)						
慣行資材	クリンテート						
栽培方法	<table border="1"> <tr> <th>定植日</th> <th>収穫日</th> </tr> <tr> <td>慣行区:4月30日 試験区:4月30日</td> <td>慣行区:6月28日 試験区:6月28日</td> </tr> </table>	定植日	収穫日	慣行区:4月30日 試験区:4月30日	慣行区:6月28日 試験区:6月28日	【栽植密度】 畝幅:90cm 株間:45cm	
定植日	収穫日						
慣行区:4月30日 試験区:4月30日	慣行区:6月28日 試験区:6月28日						
資材使用期間	4月20日～10月20日	試験区面積	585㎡				



試験結果

- 作業性について(慣行品との比較)**
フィルムの厚みが増したことで重かった。
- 作物の生育状況または、収穫への影響**
曇天の日が多く慣行区より軟弱徒長気味に生育した。
- 栽培管理上の優位点あるいは問題点について**
【問題点】: 生育初期は軟弱に生育し夏の高温期は日焼果の発生が見られた。
- 資材の強度・耐久性・崩壊性について**
問題なし。
- 促成・抑制効果について**
慣行品との差は見られなかった。
- 保温効果について**
慣行区(0.1mm)より厚みがあり保温効果は高いと感じた。
- 雑草・病害虫の発生について**
差はない

モニター感想

期待どおりの結果にはならなかった。
大型ハウスでは効果があるかも知れないが、小型のハウスでは夏の日照で日焼果がでるようでは話にならない。(慣行区は、遮光ネットを使用している)

JA担当者の感想(資材課 伊藤係長)

試験年は、春先は曇天による低温、夏季は高温など平年に比べ温度管理が難しい年であったため評価が難しい。
現時点では、慣行区のように高温時に遮光ネットを使用するほうが良い。今後は難しいかも知れないが温度(光量)に対する反応が素早くなることを期待する。

今後の使用について

改良して欲しい。
0.1mmの厚みの「調光」の販売を希望。
調光温度をまだ高い温度で設定して欲しい、理由としては温度が高くなった時にもっと白くなり温度が低い時には透明度が高くなるようなメリハリがないと春先は温度と光量不足になる可能性があるし、夏の高温時は日焼果の原因だと感じるため。
現状では容積の多い越冬ハウスのような大型ハウスが温度変化が少ないため適しているのではないかと感じる。

- 1 高温対策
- 2 害虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 クリンテート
- 5 機能性マルチ
- 6 育苗資材
- 7 不織布
- 8 その他